

栗東市農業振興基本計画等に関する地域説明会

地域の将来と農業を考える ワークショップとりまとめ

1. 栗東市農業振興基本計画に向けた地域説明会 開催概要
2. 地域説明会 当日の様子
3. 将来(おおむね10年後)実現したい地域の理想の姿
4. 『農業』ができること/すべきこと(主な意見)
5. ワークシート個票(参考)

1

1. 栗東市農業振興基本計画に向けた地域説明会 開催概要

○開催目的

栗東市農業振興基本計画の検討にあたり、本市の実態に即した栗東農業の地域別での将来像や農業振興の方向性等を検討するため、地元意向の計画への反映や主体的な関わりづくりの機会を設けることを目的に開催。

○開催日時、場所

日時	地域	会場
6月29日(火) 19:00~21:00	金勝地域	栗東市立農林業技術センター
6月30日(水) 19:00~21:00	葉山地域	コミュニティセンター葉山
7月2日(金) 19:00~21:00	大宝地域	コミュニティセンター大宝西
7月5日(月) 19:00~21:00	治田地域	栗東市役所

○参加者

農業組合長、認定農業者、農業法人、栗東市後継者クラブ等、地域農業に係る方

地域	参加者数	グループ	栗東市農林課	ファシリテーター
金勝地域	19名	4グループ	4名	4名
葉山地域	17名	3グループ	4名	4名
大宝地域	13名	2グループ	4名	4名
治田地域	14名	3グループ	4名	3名

2

1. 栗東市農業振興基本計画に向けた地域説明会 開催概要

○当日のスケジュール

19:00	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、出席者の紹介 本日の内容、進め方の説明等
第1部「地域と将来の農業を考えるワークショップ」	
19:05 (80分程度)	<p>1. 概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 栗東市農業振興基本計画の策定について 地域の概況 <p>2. ワーク</p> <p>①将来（おおむね10年後）実現したい地域の理想の姿を考える</p> <p>②理想の姿を実現するため『農業』ができること／すべきことを考える</p> <p>3. 記入用紙の掲示、発表</p>
20:25	休憩（10分程度）
第2部「栗東農業振興地域整備計画の見直しについて」	
20:35 (20分程度)	<p>1. 栗東農業振興地域整備計画の概要、見直しの方向性について</p> <p>2. 参加者アンケートのご記入</p>
20:55	・あいさつ

栗東市農業振興基本計画に関する説明会
地域の将来と農業を考えるワークシート

①将来（おおむね10年後）実現したい地域の理想の姿

②地域の理想の姿を実現するため『農業』ができること／すべきことなど

キーワード（いくつでも）：
具体的なアイデア（いくつでも）：

地図

↑ワークシート

栗東市農業振興基本計画に関する説明会
地域の将来と農業を考えるワーク キーワード集

◇「②地域の理想の姿を実現するため『農業』ができること／すべきこと」について、必要だと考えるモノやコトなど、あてはまる“キーワード”を下記からお選びください。
◇下記の“キーワード”に該当する言葉がない場合でも構いません。ご自由にワークシートにお書きください。

『農業』ができること／すべきこと “キーワード”

区分	農作物	農業経営	農地	担い手	市民交流
キーワード	米、麦類	集落密着	農地の集約化	人材育成	市民農園
	数種野菜	法人化	優良農地の確保	地域のリーダー	農業体験
	果樹	経営の多角化	農業生産基盤の改善、充実	認定農業者	グリーンツーリズム
	イチジク	スマート農業	農地バンク	兼業農家	農家民泊
	施設園芸	6次産業化	中山間農地	定年帰農	農業レストラン
	オーガニック	加工品開発	耕作放棄地対策	新規就農	農業まつり・イベント
	無農薬	施設・機具の共同利用	高齢者対策	都市住民・若者	農村文化の継承
	農産物のブランド化	流通の強化・拡大	都市農地	播磨ボランティア	細田トラスト活動
	環境にこだわりの農産物	ネット販売	防災と農地	企業や大学との連携	食育
	畜産物	オーナー制度	農地付空き家	学校教育との連携	地産地消
	園芸秀・道の駅	地域支援型農業	環境の保全	福祉との連携	フードロス対策

↑キーワード集³

2. 地域説明会 当日の様子



あいさつ



事務局説明



シート記入（治田）



意見交換（葉山）



意見共有（金勝）



代表者発表（大宝）

3. 将来(おおむね10年後)実現したい地域の理想の姿

金勝地域

- ・ 若い世代(子ども)の多い地域
- ・ 農業後継者が多く育つ地域でありたい
- ・ 都市と農村が共存する地域「地域性の強みを生かした」
- ・ 現在の状態を守って行く（地域の農地は地域で守る）
- ・ 非農家も含めた住民全員参加型農業
- ・ 環境面の良好さ(特に水源の維持)、交通面(兼業農家が鉄道で遠方まで通勤ができる老人が使いやすいバス)
- ・ 花と野菜の観光地

等

5

3. 将来(おおむね10年後)実現したい地域の理想の姿

葉山地域

- ・ 子供、住民の感性を育む農のある風景（地域住民と支える農村風景や水辺）
- ・ 住宅地の風物詩としての水田。または緑地化
- ・ 若い人達がイキイキ活動している
- ・ 若い世代に引き継いで農地が守られている状態
- ・ 近隣の集落と合わせた農業の法人化
- ・ 後継者の育成と地域の団結、協力による元気ある農業でありたい

等

6

3. 将来(おおむね10年後)実現したい地域の理想の姿

治田地域

- ・ 新しい住民との交流の場として農業(畑)を活用する
- ・ 家族の全員が土に触れる。⇒となりどうしでおすそ分け
- ・ 学ぶ場が多い地域
- ・ 地域を囲んだ農地の集約
- ・ ひとり一人の力で地域の農業を守って行きたい
- ・ 若い人が希望が持てる農地、花、野菜が作れる農地、イチジクの生産拡大
- ・ すべての人が夢が持てる地域
- ・ 安心した日常生活が送れる地域

等
7

3. 将来(おおむね10年後)実現したい地域の理想の姿

大宝地域

- ・ 新しい半農の暮らし(昔の農のある暮らし)
- ・ 市街化農地との棲み分け
- ・ 農地と宅地が共存できるまち
- ・ 子供が自由に安心安全に暮らせる地域
(子供が外で遊びたいと思える地域)
- ・ 学区全体での「農」と係わる機会を定設化
- ・ 現在の農地を出来る限り残した人の住みやすい緑のあふれた街作り。高齢による離農者が増えるので農地を預かり営農する人材を育てるシステムの構築。

等

4. 『農業』ができること/すべきこと(主な意見)

金勝地域

【農作物・農業経営】	【農地】
<ul style="list-style-type: none"> ・販売用に特化した作物の生産と販売網 ・金勝の地域は米を作る ・JRAの馬糞等を使用し、直売所で販売する ・獣害対策から始め、低労力な農業経営 <p>※キーワード</p> <p>環境こだわり農産物、米・麦、6次産業化、地域支援型農業、直売所、営農組合等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田を増やさない(管理のできる方へ) ・圃場整備、米一筆大規模化 ・水稲だけにこだわらず、果樹園や野菜施設の確保 ・耕作放棄地の対策 <p>※キーワード</p> <p>農地集約化、農業生産基盤の改善・充実、鳥獣害対策、耕作放棄地対策等</p>
【担い手】	【連携・交流】
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な企業参加の推進 ・県、市、JA、農業従事者の連携 ・兼業農家等へ農機のリース ・各小字単位でのリーダーの育成 <p>※キーワード</p> <p>企業・大学との連携、認定農業者、地域のリーダー、定年帰農、援農ボランティア等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地の良さ(景観等)を活かし、都市部の人を呼び込む ・耕作放棄地は、市民農園やオーナー制度を利用し、市民で農地を守る取組 ・若い人、大学生の発想を取り入れる <p>※キーワード</p> <p>観光と農業、景観の維持、中山間農地、市民農園、体験農園、都市住民との交流等</p>

9

4. 『農業』ができること/すべきこと(主な意見)

葉山地域

【農作物・農業経営】	【農地】
<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化の推進 ・各集落にあった農業経営 ・市やJAで機械の貸し出しや共同利用 ・高収益作物(葉山ブランド)の栽培 <p>※キーワード</p> <p>6次産業化、機械の共同利用、ブランド化、安全保障としての食料生産、儲かる農業等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集約集積のモデルとなる地域 ・地域の風物詩として水田を残す ・圃場整備された大区画の農地 <p>※キーワード</p> <p>遊休農地の有効活用、農地の集約化、耕作放棄地の貸し出し等</p>
【担い手】	【連携・交流】
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の集落と合同での法人化 ・地域をまとめるリーダーの育成 ・次の世代の担い手研修会の開催 ・若い世代の話を聞き、アイデアを取り込む <p>※キーワード</p> <p>企業の農業参入、法人化(学区単位)、後継者育成、地域のリーダー(例:東坂、走井)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な作物のある農村公園 ・地域の住民と一緒に農作業を行える機会 ・農業だけに係らず、地域(集落)の輪づくり ・体験農場での品種の試作 <p>※キーワード</p> <p>直場所・道の駅、農業まつりやイベント、農業体験、農業の魅力等</p>

10

4. 『農業』ができること/すべきこと(主な意見)

治田地域

【農作物・農業経営】	【農地】
<ul style="list-style-type: none"> ・イチジクの生産拡大(6次産業化) ・栗東のブランド等特産品づくり ・ネット販売の活用 ・野菜の無人販売の促進 <p>※キーワード</p> <p>米・麦、高収益作物、6次産業化、果樹、ブランド化、集落営農、無農薬等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来世代が農業を続けられるように無理のない区画整備 ・集団農地化 <p>※キーワード</p> <p>農地の区画整備、自然との共存、防災対策等</p>
【担い手】	【連携・交流】
<ul style="list-style-type: none"> ・農業を守るための集落間の話し合いや組織、協力(協同)体制の構築 ・集落ごとにリーダーの確保や育成 ・営農組合の統合 <p>※キーワード</p> <p>組織化、話し合い、女性、人材育成、地域のリーダーの育成・確保、協働等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に農業の理解、関心を持ってもらうために、農家自らで農業体験を行う。 ・農業民泊 ・消費者との交流や子ども達への教育を通して地域に帰ってきてもらえるような取組 <p>※キーワード</p> <p>市民農園、農業イベント、農業への関心向上、農業が趣味→生きがい、子ども達との交流等</p>

11

4. 『農業』ができること/すべきこと(主な意見)

大宝地域

【農作物・農業経営】	【連携・交流】
<ul style="list-style-type: none"> ・高収益化と機械化の推進助成 <p>※キーワード</p> <p>米・麦・大豆の集積、機械化の助成(農機具の購入難)、農家の高齢化等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション住まいの方等ファミリー層や子ども向けへ体験農園の拡大 ・市民農園のモデル化事業 ・田んぼの草刈り等のために各地に田助隊を派遣 ・学区全体で「農」と関われる機会の常設 ・ミニ直売所を設置 ・朝市の開催 ・市街化農地が家庭菜園として維持できるようなバックアップ
【農地】	
<ul style="list-style-type: none"> ・機械の大型化に合わせ、ほ場等の整備 ・市街化農地との棲み分け ・今ある農地を出来る限り残す <p>※キーワード</p> <p>都市農地、都市化、環境重視</p>	
【担い手】	【連携・交流】
<ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者の育成 ・農地を預かり営農できるような人材を育てるシステム作り <p>※キーワード</p> <p>田助隊、農家高齢化、後継者不足、企業、学校等</p>	<p>※キーワード</p> <p>貸農園、地域住民の理解・協力、農業体験、食育、家庭菜園のできる町等</p>

12

5. ワークシート個票

金勝地域

地域の理想の姿	若い世代(子ども)の多い地域	都市と農村が共存する地域 「地域性の強みを生かした」	10年～15年には農家の減少(他所地主となる)予測される金勝一農場にして(協同組織)経営の効率化をはかる。
キーワード	直売所、法人化、企業や大学との連携、企業への誘致、観光と農業	強みのある作物、地域交流、流通網、農業高校の交流	各小字は支部組織とし、中心となる専員の育成、各小字のリーダーの育成
具体のアイデア	農業への企業参加を推進し、永久的な農業経営を行っていく。また、直売所や観光が盛んになり働き手とし、若い世代が集まる。帰ってくる地域になる。	販売用に特化した作物の選択と販売用の整理	機械の協同利用の促進、ほ場の面積は最低でも3～5反以上に(スマート農業化)に整備する、金勝一農場にすると行政、JAは支援しやすくなる。
地域の理想の姿	地区の人口増により、宅地化増、農地減少等、対策を行わずべき	現在の状態を守って行く(このままでよい)	仕事がしやすく住みやすい地域
キーワード	農地集約化を進める、耕作放棄地を減少させる、人材育成に努める	認定農業者への委託、農地の選別、水稻にこだわらない	
具体のアイデア	農産物のネット販売(特に認定農業者)の拡大、同上販売ルートの充実	休耕田を増やさない。(管理のできる方へ)	圃場整備、米一筆大規模化、野菜果樹を水はけのよい土に入れるなど

13

5. ワークシート個票

金勝地域

地域の理想の姿	t(トン<米、麦>)の農業からg(グラム<野菜等>)に少しずつ移行していく。	環境面の良好さ(特に水源の維持)、交通面(兼業農家が鉄道で遠方まで通勤ができる老人が使いやすいバス)	地域の農地は地域で守る
キーワード			営農組合、大型機械、補助金
具体のアイデア	集落営農で現在田んぼを依頼していますが若い人材が、いないので人材育成に力を入れていただきたいと思います。	獣害対策が出发点になるので低コストで低労力な高い効力を発揮する器材を組み合わせる。 中山間地農地の良さを生かし都市部の人に来てみたくするような景観の維持と安心安全な農産物を生産する	金勝の地域の農地では米を作る。JRA 馬ふん等を使用して米を作って馬場で売る
地域の理想の姿	耕作放棄地なく継続性のある農業のまち	楽しい農村	農家と町の人が、力を合わせて農地を守る
キーワード	市民農園、大学との連携、認定農業者、地域支援型農業、スマート農業、米・麦の地産地消(直売所)	貸農園、農業体験、都市住民との交流、観光果樹園、農福連携、農家レストラン	農業体験・市民農園
具体のアイデア	放棄農地の市民農園又はオーナー制の利用、農地の大規模化によるスマート農業利用←認定農業者の育成	美味しい野菜、美味しいフルーツ、楽しい後継者がいる、水・昆虫・空・空気	耕作放棄地対策、空き家対策→体験者ステーション活用、畑の指導

14

5. ワークシート個票

金勝地域

地域の理想の姿	明るい農村金勝	兼業農家でも生計が立てられる農業	農業後継者が多く育つ地域でありたい
キーワード	鳥獣害対策、農地の集約化、農業生産基盤の改善・充実、都市住民との交流、援農ボランティア、定年帰農、農福連携	農地の集約化、兼業農家	中山間地において独特な農産物の育成(スマート農業の取り組み、重労働を機械化する)
具体のアイデア	耕作放棄地になりそうな田を都市住民に貸し出す(大規模面積で)、シカ・イノシシの被害のない農地の水はけのいい農地で水稻栽培はしたい。OOさんは圃場での水稻栽培。	農機のリース	農福連携の取り組み
地域の理想の姿	花と野菜の観光地	非農家も含めた住民全員参加型農業	農地の集約化
キーワード	施設園芸、認定農業者、福祉との連携、環境こだわり農産物、援農ボランティア、農業体験、スマート農業、企業や大学との連携、レストラン、6次産業、学校教育との連携、産業イベント	人材育成、企業や大学との連携	農地の集積集約を進める上で人材の確保、現状としては常時14名程度の出役者が確保出来ているが今後受託見積が5年10年後の人材確保が極めて厳しい現状と思います。
具体のアイデア	花畑にする農地確保、果樹園や野菜施設を建設その農地の確保と資金援助と調達直売所建設、県・市・JA・農業従事者との連携	若い人のアイデア力、発想、農業進出を考える企業の発想、大学生の若い発想	

15

5. ワークシート個票

葉山地域

地域の理想の姿	子供・住民の感性を育む農のある風景 地域住民と支える農村風景・水辺	近隣の集落と合わせた農業の法人化	葉山ブランド(高収益作物)推進 農地集積モデル化
キーワード	農村まるごと保全向上対策、企業の農業参入、地域の安全保障(危機管理)としての食料生産	話し合いが大事	「アグリの郷」でしか買えない作物「田舎の元気屋」
具体のアイデア	農村公園のような花(切り花)野菜果物多様な農産物を作るゾーンをつくる、隣接する田地の人と一緒に農地・水を守る	リーダーが必要(まとめるために)	
地域の理想の姿	農業従事者が減っていく為にむつかしい	若い世代引き継いで農地が守られている状態	地域の農地は地域で守る
キーワード	農業まつりイベント	機械の貸し出し、意欲のある方見つける、作る楽しみ成長の喜び感じられる、収入面での楽しみが出てくる	地域のリーダー(一例、東坂、走井、など)
具体のアイデア		機械→JA・市役所など貸し出し用として用意出来たらどうか、体験農場で農業を見つける(品種)、直売所で売る楽しみ	強いリーダーシップによって地域はまとまる情報 SNS FB ユーチューブ

16

5. ワークシート個票

葉山地域

地域の理想の姿	住宅地の風物詩としての水田。または緑地化	住と農の両立、担い手の確保	5~10年先、農地及び経営面積は現状から変わらないと思う。5~10年先、オペレーターとなってくれる人材は現状維持。若手に対して期待ができない
キーワード		農地の市街化、遊休農地の有効利用	転作作物の減反を現状推進。農事法人の現状維持(機械の協同利用)。農地は帰農を期待する。
具体のアイデア	親から相続した農地なので、仕方なく米を作っている。(作業委託している)面積も小さい、経験もない子供なし数年後には売却するしかない		
地域の理想の姿	野菜と米と3次産業から6次産業に向けた農業地域の職業を生かせる農業。職場のあるモデル	みんなが楽しくできる農業	若い人達が生きる活動している(地域の活性化)
キーワード	6次産業(米、野菜利用)	法人化(学区別)。農地の集約化	農業の魅力、後継者の育成、儲かる農業
具体のアイデア	補助金	集落にあった農業づくり。補助金。若い人聞いてみる。	次の担い手研修会、農業にかかわらず農業の輪づくり、その中でアイデアの

17

5. ワークシート個票

葉山地域

地域の理想の姿		ほ場整備で整った大区画の圃場で、大規模な安定した農業経営をしていきたい。後継者の育成と地域の団結、協力による元気ある農業でありたい。	担い手の確保ができていて、育成もできている
キーワード	次の世代の育成、機械の確保のため、人の確保のため	「食は農、農は生命」・農産物のブランド化。・人材育成・直売所・農業体験	若い担い手がいる。耕作放棄地の貸し出し。
具体のアイデア		高収益作物の栽培、集落での若い世代の楽しい農業の取り組み、アイデア、直売所、農家のレストラン	
地域の理想の姿			
キーワード			
具体のアイデア			

18

5. ワークシート個票

治田地域

地域の理想の姿	新しい住民との交流の場として農業(畑)を活用する	ひとり一人の力で地域の農業を守って行きたい	農地の区画整備
キーワード	市民農園、農業体験、農業まつり、イベント	農業を守るための話し合いと組織が必要ではないかと思う	米・麦、高収益作物、農産物のブランド化、地産地消
具体のアイデア	住民開発が進み、子供が増えており地域交流の場として農業従事者がリーダーとなり体験学習を行う。	農業大学農業民泊農業体験	協力し合える集落で集まり今後を考える将来の担い手が農業を続けられるように無理のない区画整備、栗東全体でブランドを作り、特産物を作る。
地域の理想の姿	若い人が希望が持てる農地、花、野菜が作れる農地、イチジクの生産拡大、米では	集落間の連携(話し合い・方向性)	すべての人が夢が持てる地域(安心した日常生活が送れる他)
キーワード	若い女性のほうが	地域のリーダー、集落営農	6次産業化、CO2の削減、防災体制、安心安全な農産物・交通の利便性を生かす、自然と共存、農業への関心向上
具体のアイデア		市街化地域、青地地域を区別して集落間の話し合い協力体制の構築	イチジクの6次産業化、企業の農業参入を促す、集団農地化とAI化

19

5. ワークシート個票

治田地域

地域の理想の姿	野菜を作り無人販売する	学ぶ場が多い地域	市民農園が多くあり、子どものころから農業と触ることができる地域でありまた、新規就農しやすく、集客力の農産物がある地域
キーワード	農業を使用しない	人材育成、農業体験、スマート農業	米・果樹・農産物ブランド化・市民農園・学校教育との連携
具体のアイデア	サラリーマンの方多数おりますので作るのを見ているので信用があると思います。	ネットの活用、貸農園	
地域の理想の姿	家族の全員が土に触れる。 →となりどうしておすそ分け	地域を困んだ農地の集約	地域集落(農地)の合併(集約)
キーワード	協働	趣味→生きがいになる農業、地域交流、リーダーの育成	リーダーの確保
具体のアイデア		農業組合(営農組合)の合併(統合)	

20

5. ワークシート個票

治田地域

地域の理想の姿	農地を守る自覚、企業の農業参入(学区単位の合併・農地あることの誇りを)		
キーワード	消費者との交流、体験、子供たちへの教育、食を通して作る喜びを得る		
具体のアイデア	子どもたちに体験し面白く楽しいことを自覚してもらおう		
地域の理想の姿			
キーワード			
具体のアイデア			

21

5. ワークシート個票

大宝地域

地域の理想の姿	新しい半農の暮らし(昔の農のある暮らし)		農地の集約化と人材育成および収益性の確保
キーワード	企業、学校、田助隊	市街化区域のため農業地を所有しているだけで税金が高いため赤字である。収入を上げることは絶対あり得ないので、現在すでに貸農園を2つ大宝幼稚園学習園に利用頂いている。このままとりあえず続ける予定。	高収益化、機械化の推進助成、地域住民の理解・協力
具体のアイデア	体験農園の拡大(子供、ファミリー層)、田んぼの草刈り等の田助隊が各地に!!栗東として農業をどう進めるのか企業との共生のあり方を連携して進めるべき、学校との連携を軸からつなげるいのち世代をつなぐ	マンションの方で農業に興味ある人に自給自足のチャンスを差し上げる。	若手従事者の育成、直売所
地域の理想の姿	学区全体での「農」と係わる機会を常設化	田、畑、減少	子供が自由に安心安全に暮らせる地域(子供が外で遊びたいと思える地域)
キーワード	米・麦・大豆は集積化。畑作は、特産品化。	都市化農地、高齢化、後継者不足、農機具購入困難	学校教育との連携、農業体験、食育
具体のアイデア	市民農園のモデル化、例10㍓ 30万円モデル(所得10万円)		

22

5. ワークシート個票

大宝地域

地域の理想の姿	市街地化		農地と宅地が共存できるまち
キーワード	都市農地、市民農園		地産地消
具体のアイデア		現在の農地を出来る限り残した人の住みやすい緑のあふれた街作り。高齢による離農者が増えるので農地を預かり営農する人材を育てるシステムの構築。	市民農園、朝市
地域の理想の姿	我地域では10年後9割以上水田がなくなっていると思う	市街化農地との棲み分け	現在の農地を出来る限り残した人の住みやすい緑のあふれた街づくり。高齢による離農者が増えるので、農地を預かり営農する人材を育てるシステムの構築。
キーワード	米の作付位	直売所、市民農園、食育	農家の高齢化、都市化、環境重視、地産地消、家庭菜園のできる街
具体のアイデア		ミニ直売所建設	残った農家の経営面積が増え、機械が大型化するので農道や圃場の大型化を計る。市街化農地が家庭菜園などで維持できるシステムを市がバックアップする。